一宮西高
同窓会報
第25号　2010年7月7日発行
発行：一宮西高校同窓会事務局
一宮市萩原町串作字河田1番地　〒491-0376
TEL（0586）68-1191　FAX（0586）69-0196
E-mail　dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp

「お陰様で」

同窓会会計　小関浩美

暑中お見舞い申し上げます。皆様が、それぞれの方面におかれご活躍されておりますことを、心よりお喜び申し上げます。

住んでいる地域や生活環境の違いからなのでしょうか、卒業以来お目にかかっていない同窓生がなんと多いことか。会報の原稿を書くにあたり、懐かしさがこみ上げてきました。私事にはなりますが、現在も一宮市内でサービス業を営みつつ、精力的に毎日を送っております。会報誌面をお借りして、日頃ご無沙汰をしている皆様へのご挨拶と、また、地元でお世話になっている同窓会の皆様へは改めて感謝を申し上げます。

さて、私も、「お陰様で」という言葉を真に口にできる年齢となりました。何を今さらと思われるかも知れません。しかし、紆余曲折とまではいかないものの、数々の経験が私自身の心の糧となりました。諸々の場面で人との出会いがあり、その関わりの中で、「お陰様で」の心が醸成されたのだと思います。

幼少期から青年期に友情を育んだ友人達との交流はもとより、年齢を重ねてから新たに出会いのあった方々とも深い信頼関係を築いています。子供の感性と大人の感性は本来異なるものでしょうが、「お陰様で」の心のもとにある信頼関係は、いつも新鮮で確実に成長し続けています。

以前、「あなたは他人を信用しすぎ」と言われ、自問自答を重ねて悩んだ時期もありました。また、ただいたずらに年を重ねて来ただけと思われる時期もありました。しかし、時には微妙で繊細な距離を保たなければならない人との関わりの中で、「お陰様で」の心には、信頼関係を深めることができる不思議な力があると感じ始め、今では、私の人生の揺るぎない基本軸となっています。このような私ですが、同窓会の活動等を通してお目にかかることが叶えば、当時の私と少しは大人になった私の両面を重ねて感じていただけるでしょう。皆様の目に映る姿は随分変わってしまいましたが…。

最後になりましたが、これからの同窓会活動に対しても、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げるとともに、今年度の総会にも、多数のご参加をお待ちいたしております。

修学旅行　原爆ドーム

体育祭部対抗リレー

予餞会劇

予餞会合唱

平成22年度
同窓会総会のお知らせ

（全日制第5回生第25回生学年同窓会同時開催）

日　時　8月7日（土）午後5時より
場　所　一宮スポーツ文化センター
会　費　5,000円（学生は3,000円）

同封のハガキで出欠をお知らせください。
※来年度は、第6回生・第26回生（昭和47年卒・平成4年卒）の学年同窓会を計画しております。